

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

事業所:あすなろkids 中村公園校

討議年月日:令和 6年 1月 26日

公表:令和 6年 2月 1日

		チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		基準の要件を満たしています。
	2	職員の配置数は適切である	○		国が定める基準を満たしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		マンション入り口にスロープあり。室内トイレ内に手すりの設置をしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		職員会議等で活動の確認。振り返りを行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HPで公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	外部評価までは行っていないですが、有識者の意見を取り入れて業務にあたっています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部研修及び外部研修の参加を行っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		相談支援員や保護者の方と必要に応じて話し合いをして現状の課題を見極め作成しています。6か月に1度保護者の方と面談しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		応用行動分析などのツールを活用し、個々の状況の把握に努めています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員会議等で活動内容を提案し検討しています。楽しんで活動できるような仕組みを考え工夫しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		保護者様のニーズや利用者本人の状況によって柔軟に対応できるように今後も努めていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別の時間・グループの活動時間を組み合わせサービスを提供しています。状況によっては個別の対応にならざるを得ない場合には柔軟に対応しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		注意点や基本的な役割分担はしているが、柔軟な対応ができるように身体や生命が危険にさらされない場合には必要以上の役割分担はしないようにしている。屋外での活動時には役割分担をしっかりと決めている。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	気づき等を共有できるようにケア記録に反映させるようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	ケア記録等を記載し情報の共有ができるようにしています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○	必要に応じてその都度、または6か月に1度保護者の方と面談します。また会議を通じて見なおし検討をしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○	自立支援と日常生活の充実のための活動を中心に自己肯定感を固められるような創作活動を行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	基本的には児発管が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	初めて訪問する学校には事前に学校へ訪問し送迎等の調整を行っています。引き渡し時、必要に応じて申し送りをしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	現在医療的ケアが必要な子どもの受け入れはありません。必要に応じて対応していきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	現在新卒園児の受け入れがないため行っていません。今後受け入れがある場合には情報の共有をしていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	現在そのような事例がありませんが、今後そのような事例があれば情報の提供ができるように準備します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携はしていませんが、常勤職員は発達についての研修を受けられるように整備しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	現在はそのような交流はありませんが、利用児童等の意見も参考にしながら今後検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	可能な限り参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	送迎時の引き渡し時に話をさせていただいています。また、HUGの連絡ツールや連絡帳を使用して相談いただいたことに関しては都度相談もさせていただいています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	茶話会という名前で保護者の交流や個別での相談対応もさせていただいています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に説明をしています。また、事業所入り口にはいつでも閲覧できるようにファイルを設置しております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	要望に対しては柔軟に対応できるように努めています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	茶話会という名前で保護者の交流や個別での相談対応もさせていただいています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	苦情解決の体制の整備をしています。また、営業時間外でも電話を転送して対応できるようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	HPやHUGの活動記録、保護者との連絡事項などを活用しています。

非常時等の対応	35	個人情報に十分注意している	○	個人情報は一鍵付きで保管しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	個々の状況によって柔軟な対応をしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	地域の歯科と連携して地域に向けたイベントを行いました。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	マニュアルは作成済みです。職員は年に2回学習の機会を設けています。保護者の方には契約時にマニュアルを作成済みということは伝えてありますが、内容については広く周知されていないため、今後ご家庭で必要な部分については周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	地震、火災、洪水浸水等の避難訓練や学習を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	職員研修で学習をする機会を設けております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	身体、生命が危険にさらされる場合以外には身体拘束をいたしません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	アレルギーがあるお子様にお菓子等食物を提供する場合にはご家庭に確認したうえで提供をしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	作成して職員会議で共有しています。